

ベトナムにおけるフィットネスビジネスの現状

中川 良一

<フィットネスクラブの進出が続々>

ベトナムの都市部ではフィットネスクラブが数多くオープンしています。特に、首都ハノイ及び最大商業都市のホーチミン市では、大型のフィットネスクラブが目立つようになっています。この背景として、経済発展により生活スタイルや食習慣が変わってきたため健康志向が高まっていること、バイク移動が多く運動する機会も場所もないこと、外の空気がきれいでないことなどが挙げられます。

市場調査の Statistics 社によれば、ベトナムのフィットネスビジネス市場は、年間伸び率 20%で、2020 年に市場規模が 1 億 1,300 万米ドル（約 124 億円）に達すると予測されています。

特に、外資系企業によるフィットネスビジネス展開の躍進が目立ち、2007 年ランディ・ドブソン氏（Randy Dobson、米国人）が、ベトナムホーチミン市にフィットネスクラブ運営を目的とした BIM グループ社および California Fitness & Yoga 社を設立し、その同社一店がホーチミン市内にオープンしました。その後、拡大を続け、現在ベトナム全国で California Fitness & Yoga クラブは約 30 カ所にフィットネスクラブを開設しています。また、同じ系列事業で California Yoga Plus（ヨガ専門）、California Centuryon（中年層向けのフィットネスクラブ）、UFC Gym（混合武術クラブ）、California Kids（子供向けフィットネスクラブ）など年齢層別に特化したクラブも開設しています。



【California Fitness & Yoga クラブ(ホーチミン市 Hung Vuong Plaza内)】

カリフォルニアフィットネス&ヨガ社の親会社となる BIM グループの財務報告によると、2018 年のカリフォルニアフィットネス&ヨガ社を含むグループ売上高は 4,650 億 VND(約 20 億円) 超え、2017 年比 6%増、2016 年比では 60%と急激な増加になっています。

<日系企業によるフィットネスクラブの投資>

日本からは株式会社ルネサンスが 2014 年に RENAISSANCE VIETNAM, INC.の現地法

人を設立し、2015 年にハノイ市イオンモール Long Bien ショッピングセンター内にスイミング&フィットネスクラブをオープンしました。同社によれば、フィットネス会員なども含めた 1 日当たりの来場者数は 1,000 人を超えます。施設の面積は約 4,500 m²で、温水プール 25m×7 コース、トレーニングジム、スタジオ、ドライサウナ、温浴施設、リラクゼーションスペースほかの設備を備えています。ベトナムでは温浴施設＝大浴場が習慣的に無いため、普及しておりませんが、ルネサンスフィットネス内の大浴場は大変人気です。

<ベトナム人は、健康志向が高い?>

市場調査 Q&Me 社が 2017 年 12 月にホーチミン市及びハノイで行ったアンケート結果によれば、5 年前に比べて健康及び体型に注意を払うベトナム人が増加しています。またアンケート回答者 850 人のうちフィットネスクラブを利用すると回答したのは、男性 80%、女性 73%となり、非常に高い利用率であることがわかります。

フィットネスクラブの経営では設備の充実化の他にインストラクターによる丁寧な指導体制及びリラックスできる空間造りは重要なポイントになります。ベトナムではトレーニング設備はほとんど輸入品となりますが、インストラクターは 20 代の若者を中心に、容易に採用できます。フィットネスクラブで働くことはベトナムの若者にとって魅力のある職業の一つです。

フィットネスクラブの開設に必要な投資額は面積や設備にもよりますが、5,000 m²の高級フィットネスクラブならば約 5 億 5,000 万円かかると言われています。

来日されたベトナム人観光客が、サプリメントや栄養剤などをお土産としてドラッグストアで両手いっぱい購入している姿をよく見かけますが、健康志向の高いベトナム人にとって、フィットネス産業やその他健康産業は、今後も成長が見込まれる魅力のある産業になると思われます。

